

平成 23・24 年度 土木学会複合構造委員会 第 2 回幹事会議事録

1. 日 時：平成 23 年 7 月 29 日（金）14:00～17:00
2. 場 所：スクワール麴町 5F ゆり
3. 出席者：杉浦委員長，島副委員長，西崎幹事長，奥井幹事，斉藤幹事，下村幹事，武知幹事，古市幹事，松本幹事，溝江幹事，渡辺幹事，竹原事務局  
（欠席者：池田幹事，大垣幹事，大山幹事，葛西幹事，広瀬幹事）
4. 配布資料  
資料 幹 2-0 平成 23・24 年度第 2 回複合構造委員会幹事会議事次第  
資料 幹 2-1 平成 23・24 年度第 1 回複合構造委員会幹事会議事録（案）  
資料 幹 2-2 平成 23・24 年度第 1 回複合構造委員会議事録（案）  
資料 幹 2-3-1 複合構造 調査研究拡充支援金の配分  
資料 幹 2-3-2 平成 23 年度複合構造委員会予算案  
資料 幹 2-4-1 第 9 回複合・合成構造シンポジウム準備状況  
資料 幹 2-4-2 第 9 回複合・合成構造シンポジウム行事計画書  
資料 幹 2-4-3 第 9 回複合・合成構造シンポジウムプログラム  
資料 幹 2-4-4 第 9 回複合・合成構造シンポジウム見学会依頼状  
資料 幹 2-4-5 第 9 回複合・合成構造シンポジウム工程表  
資料 幹 2-4-6 第 4 回 FRP 複合構造・橋梁シンポジウム基本計画  
資料 幹 2-5 平成 23 年度年次学術講演会・研究討論会企画  
資料 幹 2-6 出版関連報告  
資料 幹 2-7 複合構造委員会 東日本大震災被害調査小委員会 設立趣意書  
資料 幹 2-8-0 複合構造委員会 小委員会一覧  
資料 幹 2-8-1 複合構造標準示方書小委員会メンバー案  
資料 幹 2-9-1 A1 分冊編集小委員会・委員選定方法への意見照会  
資料 幹 2-9-2 A1 分冊編集小委員会 委員構成  
資料 幹 2-11-1 「調査研究委員会における国際活動に関する調査」協力をお願い  
資料 幹 2-11-2 国際活動に関する調査記入用紙  
資料 幹 2-11-3 土木学会国際戦略  
資料 幹 2-11-4 「調査研究委員会における国際活動に関する調査」回答状況  
資料 幹 2-11-5 国際活動に関する調査結果抜粋（平成 18 年度実施）  
資料 幹 2-11-6 英文図書への取扱いに関する基本方針と「ガイドライン（案）」の制定について  
資料 幹 2-12-1 「調査研究部門 2011 年度計画」へのご対応をお願い  
資料 幹 2-12-2 調査研究部門の年度計画（2011 年度）  
資料 幹 2-13 平成 23・24 年度 複合構造委員会 第 3 回幹事会予定

5. 議事内容

(1)委員長挨拶

幹事会開催にあたり，杉浦委員長より挨拶があった。

(2)平成 23・24 年度第 1 回複合構造委員会幹事会議事録の確認（資料 幹 2-1）

西崎幹事長より，前回幹事会議事録案が読み上げられ，一部修正の上，承認された。

(3)平成 23・24 年度第 1 回複合構造委員会議事録（案）の確認（資料 幹 2-2）

西崎幹事長より，第 1 回委員会議事録案が読み上げられ，一部修正の上，次回委員会にて確認することとなった。

(4)平成 23 年度複合構造委員会予算案（資料 幹 2-3-1～2-3-2）

西崎幹事長より，資料 幹 2-3-1 に基づき，調査研究費配分額が 136 万 4 千円に決定したことが報告された。配分額をもとに，本年度の予算案について説明があった。

委員会 5 万円，幹事会 40 万円，H101 小委員会 30 万円，H002 小委員会 3 万円，H003 小委員会は予算なしとし，これ以外の小委員会は 5 万円ずつとする。残りを予備費とし，有効に活用することとした。予算案は親委員会にメール審議を行うこととした。

(5)第 9 回複合・合成構造の活用に関するシンポジウムについて（資料 幹 2-4-1～2-4-6）

溝江幹事より，資料 幹 2-4-1 に基づき，第 9 回複合・合成構造の活用に関するシンポジウムの準備状況について説明があった。

全体の運営に関して，参加費は正会員・後援団体会員を 8 千円，非会員を 1 万 2 千円，学生会員を 4 千円とすることとなった。会告は学会誌 9 月号の掲載予定となり，土木学会非会員でも HP から申し込みできる体制となったことが説明された。タイムキーパーは座長が兼任とし，アルバイトは準備しないこととなった。

講演に関して，CD-ROM は 200 部製作とし，販売残数は出版事業課に贈呈して販売してもらうこととする。座長の謝金は不要とするが，建築側の座長に対しては，参加費の支払いを不要とすることとなった。

特別企画に関して，現場見学会の準備として，見学の依頼状を見学先の JR 東日本に送付する。パネルディスカッションの司会は渡辺幹事をお願いする。建築側のパネリストに対して謝金は不要とし，参加費の支払いを不要とすることとなった。懇親会参加費は 2 千円の予定となった。

表彰制度に関して，土木学会所属の講演者を対象に表彰することとし，古市幹事から建築学会に表彰実施について連絡してもらうこととなった。対象者は 40 歳未満の土木学会会員とし，審査対象は講演のみとして座長または審査員が審査を行なう。審査シートは年次講演会と同じものを用いる。今後，選考基準を作成することとなった。また，シンポジウムのプログラムは資料 幹 2-4-3 の通り決定した。

第 4 回 FRP 複合構造・橋梁シンポジウムの計画について，西崎幹事長より資料 幹 2-4-6 に基づいて説明があった。開催時期は，他の国際会議等を考慮して，2012 年 11 月に開催することとなった。

(6)平成 23 年度全国大会・年次学術講演会について（資料 幹 2-5）

西崎幹事長より，資料 幹 2-5 に基づき，研究討論会の企画について説明があった。

(7)出版関係（資料 幹 2-6）

武知幹事より，資料 幹 2-6 に基づき，出版関連について報告があった。

平成 24 年度の出版企画書は 9 月末に提出することとなった。関係する小委員会で出版計画を確認してもらうこととなった。

複合シリーズ 05「鋼・コンクリート複合構造の理論と設計」の出版に際しては，構造工学シリーズ 9A が現行販売されていることを考慮して，構造工学委員会に出版のお知らせを文書で送付することとなった。販売部数と価格の設定のため，学校関連の購入について予備調査の実施を検討することとなった。

(8)東日本大震災被害調査小委員会の設立について(資料 幹 2-7)

西崎幹事長より、資料 幹 2-7 に基づき、新設委員会の設立について説明された。委員長は杉浦委員長とし、メール審議にて小委員会を立ち上げる。当面は滝本委員を中心に少人数の幹事会を発足して予備調査を実施し、その結果を考慮して委員を増員することとなった。

(9)小委員会報告審議事項(資料 幹 2-8-0～2-8-1)

複合構造標準示方書小委員会(H101)

渡辺幹事より、資料 幹 2-8-1 に基づき、小委員会の委員案について説明があった。委員案は親委員会へのメール審議とし、承認された後に各委員へ正式に依頼する。8/2 に幹事会を立ち上げ、9/末に第1回委員会を予定している。

(10)論文集 A1 分冊編集小委員会の委員について(資料 幹 2-9-1～2-9-2)

島副委員長および杉浦委員長より、資料 幹 2-9-1～2-9-2 に基づき、編集小委員会の委員選定方法に関する意見照会について説明があり、編集小委員会から示された選定方法で了解することとなった。

(11)複合構造の基礎に関する書籍の審議について

島副委員長より、複合構造シリーズ05「鋼・コンクリート複合構造の理論と設計」の親委員会の意見照会結果について修正対応を実施したことが報告された。査読意見と修正対比表を事前メールで配信してもらい、次回幹事会で審議することとなった。販売計画も次回幹事会での審議とし、出版工程は遅らせることとなった。

(12)国際活動に関する調査依頼について(資料 幹 2-11-1～2-11-6)

西崎幹事長より、資料 幹 2-11-1～2-11-6 に基づき、国際委員会からの調査依頼について説明があり、以下について要望することとなった。

国際活動の課題：英文化のための費用負担について対応して欲しい。

国際委員会、国際室への要望意見等：単一の委員会が単独で国際交流セミナー等を継続するのは困難であるため、複数の委員会をパッケージにして対応すると取り組みやすい。そのためのアレンジを国際委員会が戦略的に企画対応して欲しい。

(13)その他

西崎幹事長より、資料 幹 2-12-1 に基づき、2011 年度計画について報告があった。

(14)第3回幹事会

平成23年9月8日(木) 15:30～18:00 愛媛大学 法文学部講義棟 1F 102 教室 にて開催予定。

以上(記録・文責 武知)